

旭ヶ丘地域振興計画



第1号議案

策定の背景と目的

旭ヶ丘地区にも少子高齢化の波が押し寄せ、今まさにその波に飲み込まれようとしています。市街地から北へ向かって新興住宅地、田園地帯へと広がる地区であるため、限られた住宅地に人が集中しており、次世代が他の地区へ流出しているのが現状です。

この課題以外にも、他の地区とも共通する防犯防災対策や交通安全対策、環境保全など多種多様な地域課題への対応が求められています。特に旭ヶ丘は古き時代から人々が生活を営み、独自の文化を創り出してきました。今ではその文化を継承していくことが難しくなり、新たな局面を迎えています。

一方、最近では空き家や空き地を活用した住宅が建ち並ぶ所もあり、明るい兆しも垣間見ることができます。

この計画は、旭ヶ丘地域に暮らす人々がお互いに助け合い、知恵を出し合って地域の特色を活かした魅力ある地域づくりのための活動を行うとともに、住民及び団体相互の交流と連携を推進し、安心して生活できる住みよい旭ヶ丘地域を創ることを目的に策定しました。

旭ヶ丘地域の課題 ～アンケートや座談会での意見～

- ・多くの町内で少子高齢化が進んでおり、今までの制度や取り決めなども現状に合うように見直す必要がある。
- ・アパートなど、ひとり暮らしのお年寄りがどの家にいるかなどを把握しきれていなく、いざという時の対応に不安。
- ・街なかにあって環境も良いのに、旭ヶ丘小学校の新入生の数が年々減っているのが残念。
- ・子どもたちが外で遊ぶ姿をあまり見かけない。
- ・地域のみんなで行う外での活動がもっとあるとコミュニケーションが広がると思う。
- ・空き家や空き地が増え、地区内の個人商店がどんどん減っていることが淋しい。
- ・街中が歯抜けになり、櫛のようにボロボロと地域が崩壊していくのではないかと心配。
- ・若い世代が安心して生活できる環境を整え、活気に満ちた街づくりを目指すことが必要。
- ・消防団の人は自分の町内以外も守ってくれているが、対する住民の協力や感謝の気持ちが少ないと感じる。
- ・地域の防災に対する知識が足りない。災害時の連携も期待ができない。
- ・防災について地域で考えたいけれども、そういう場がない。
- ・資源回収に対して地域の協力が少ないように感じる。
- ・吉田川の水が汚れてきていることや七右衛門桜が傷んできていることが気がかり。
- ・地域の祭りや行事が毎年小規模化していることに寂しさを感じる。
- ・子どもの頃は地蔵まつりや観音さまのお祭りに賑わいがあったおかげで楽しい思い出がいっぱい。何か一つでいいから、古きよきものを地域みんなの力で残してほしい。
- ・昔は子どもからお年寄りまで皆が集まる憩いの場であった“吉田観音”は旭ヶ丘のシンボル。
- ・若い人を取り込むために、PRを「紙」に頼らず、インターネットを活用すべきである。

旭ヶ丘地域の人口

0歳児の人数が平成27年の47人のまま推移すると仮定した場合、平成38年の小学生の人数は282人になり、平成17年の約3分の2になります。

平成38年には、平成17年より生産年齢人口が約1,000人減少し、約5人に1人が後期高齢者になります。

一層少子高齢化が進む厳しい見通しになっています。

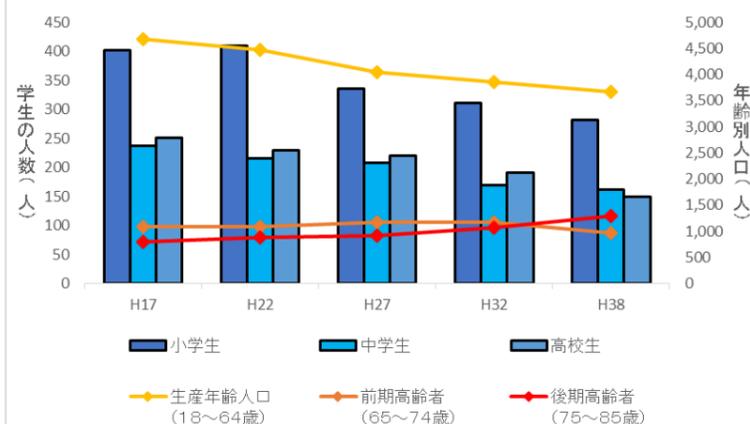
■将来の世代別人口（85歳まで）の見通し 単位：人

	H17	H22	H27	H32	H38
小学生	402	410	336	311	282
中学生	237	215	208	170	161
高校生	251	229	220	191	150
生産年齢人口 (18～64歳)	4,672	4,477	4,043	3,861	3,668
前期高齢者 (65～74歳)	1,079	1,079	1,163	1,168	959
後期高齢者 (75～85歳)	796	882	906	1,076	1,295
85歳までの人口	7,806	7,584	7,186	7,059	6,797

激減！

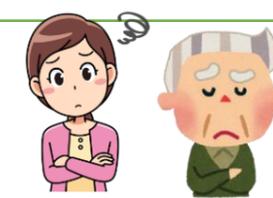
約5人に1人！

旭ヶ丘の人口推移



■特徴的な町内の人口・世帯数推移

	昭和51年 (1月1日現在)			平成8年 (10月1日現在)			平成27年 (10月1日現在)			昭和51年から見た現在の割合			
	人数	世帯数	1世帯当たり	人数	世帯数	1世帯当たり	人数	世帯数	1世帯当たり	人口増減	割合	世帯増減	割合
長谷寺町	60	16	3.8	31	10	3.1	12	6	2.0	-48	20.0%	-10	37.5%
伊勢町	119	31	3.8	41	17	2.4	25	9	2.8	-94	21.0%	-22	29.0%
宮地町3丁目	217	61	3.6	99	40	2.5	61	36	1.7	-156	28.1%	-25	59.0%
塔ノ洞	226	46	4.9	224	56	4.0	182	61	3.0	-44	80.5%	15	132.6%
黒屋	421	87	4.8	415	90	4.6	359	109	3.3	-62	85.3%	22	125.3%
円保通	176	50	3.5	285	88	3.2	312	116	2.7	136	177.3%	66	232.0%



将来像
(スローガン)

基本方針 (テーマ)

基本施策

やれるといいね!こんなこと ~ガヤガヤ会議で出た主なアイデア~

みんなで築こう! 元気で明るい地域^{まち} "あさひ"

みんなでつなごう!
心の絆

みんなで育もう!
輝く未来

みんなで広げよう!
あふれる笑顔

みんなで作ろう!
安心で安全な環境

みんなで守ろう!
豊かな自然と文化



高齢福祉

- ・高齢者の見守り
- ・高齢者の交流の場づくり
- ・高齢者が活躍できる場づくり

- ・一人住まいや高齢者世帯には回覧板などを渡す時に声かけや直接渡すように心がけよう
- ・安全に行けて参加しやすい高齢者の居場所・サロンを公民センター単位でつくろう
- ・閉店した喫茶店などを活用し、近所の人で協力し合って高齢者のたまり場をつくろう
- ・地域包括支援センターなどの支援機関と連携しよう

教育・子育て支援

- ・子どもの見守り
- ・子どもを中心とした多世代交流の機会づくり
- ・PTAなど子育て団体と地域の連携強化

- ・町内に子どもが少ないので、子ども会を合同にするといいかも
- ・動ける高齢者がサポーターとなり、時間制で当番を決めて子どもたちを見られるといいかも
- ・農業に詳しい黒屋や塔ノ洞地区の住民と小学生が農業体験で交流をするといいかも
- ・新生児や進級する子どもたちを祝える温かい雰囲気をつくろう
- ・全国大会出場時など、費用がかかる場合に住民から寄付を募る仕組みをつくろう

健康・スポーツ

- ・健康寿命の延伸
- ・スポーツや健康づくり環境の充実
- ・スポーツや健康づくりを通じた世代間交流

- ・地域全体でラジオ体操をしよう
- ・吉田川の桜など、旭ヶ丘のシンボルとからめたウォーキングコースを設定しよう
- ・総合型地域スポーツクラブなど、そこへ行くとスポーツができる環境をつくろう
- ・運動教室を開催しよう

安心・安全

- ・防災意識の啓発
- ・消防団活動への支援・協力
- ・交通安全、空き家対策

- ・消防団の担い手不足なので旭ヶ丘地域全体で決まり事をつくろう
- ・町内ごとで崩れかかった空き家や危険箇所を調査して地図に落とし、ハザードマップをつくろう
- ・防災意識の向上のため、総合防災訓練時に旭ヶ丘地域でも重点訓練を行おう
- ・防犯灯調査隊を結成しよう

環境美化

- ・吉田川的环境整備
- ・資源回収の連携体制づくり

- ・「吉田川・桜の日」(仮称)を作り、年間計画に基づき町内と桜鯉育会が連携して美化保全活動をしよう
- ・子どもたちが入れるきれいな吉田川を復活させよう
- ・地域を挙げて学校の資源回収に協力しよう

地域の伝統文化

- ・地域文化の継承・盛り上げ
- ・神社仏閣と地域のつながり・連携強化

- ・地蔵まつりやお十七夜のダシをオープン化して、旭小の子どもたちに参加してもらいたい
- ・地蔵まつりなど伝統文化の本質を伝えるために、準備段階からビデオ撮影して、当日はその映像を流せたら素敵だね
- ・冬に吉田川の桜をイルミネーションで飾ろう
- ・お地蔵さんマップをつくろう
- ・地区ごとの伝統文化をまとめ、講座を開催しよう
- ・みんなの憩いの場所としての復活を吉田観音にお願いしよう

組織づくり

- ・情報発信の充実
- ・各種団体の連携強化
- ・ふれあいセンターの管理運営

- ・地域のそれぞれの分野に詳しい地域マスターを発掘しよう
- ・活動やイベントのPRをインターネットで配信しよう
- ・他の地域や近隣の町内とも連携して行事を推進しよう